



謹賀新年 今年もよろしくお祈いします

平成29年、新しい年が始まりました。同時に今年度も残すところ3ヶ月になり、小学6年生や中学3年生は、卒業と進学を間もなく迎えることとなります。小・中学校生活の集大成として有終の美を飾れるよう、引き続き先生方の御指導・御支援をお願いいたします。

また、1月から3月までの3ヶ月間は、新年度へ向けての0学期とも言われ、市教育委員会にとっても先生方とともに学校の教育活動全般について振り返り、見直しを行う時期です。市内小・中学校に通う全ての子どもたちが、充実した平成29年度を迎えられるよう、新学年を迎えるための準備を協力して進めていきましょう。

【1月の予定】

※時間のみ記載の研修会の場所は、下野市庁舎です。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
1 	2	3 	4	5	6	7 県立中学校入学者選考
8 成人式 	9 成人の日 下野市天平 マラソン大会	10 冬季休業明け	11 市小中学校長 定例会議⑧ 9:00~	12 市教育研究発表会 リハーサル 13:30~ グリムの館 小中英語連携推進 研究会 14:00~	13 市教頭研修会 14:00~ 下都賀地区理科研究 発表会 壬生町	14
15 	16 S&U 古山小	17 市養護教諭研修会 14:00~	18 市教職員全体研修会 (教育研究発表会) 14:00~ グリムの館	19 定例教育委員会	20 	21 下都賀地区理科研究 展覧会 壬生町(~24日)
22	23 社会科副読本 活用研修会 15:00~	24 ゆうがお CAFE 17:30~	25 	26 第4回学校給食食物 アレルギー対応 委員会 15:00~	27 県教育研究発表大会 1日目 総教センター	28 県教育研究発表大会 2日目 総教センター 下野市教育のつどい 国分寺公民館(子ども未来 プロジェクト活動報告会)
29 	30 市長特別授業 南河内中	31 				

☆市教職員全体研修会(研究発表会)☆

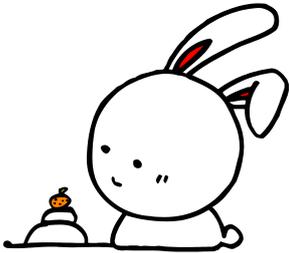
- 1 期日 平成29年1月18日(水) 14:15~(受付13:45~)
- 2 場所 グリムの館
- 3 内容

- ①【学校課題研究報告】 祇園小学校 「日産財団理科教育助成実践報告」
- ②【特色ある教育活動報告】 石橋小学校 「学校環境緑化活動実践報告」
- ③【アレルギー対応研究報告】 市アレルギー対応委員会
大島 久美子栄養教諭(石橋中)・堀口 淳子養護教諭(国分寺小)
- ④【道徳教育中央研修報告】 土田 礼巳教諭(緑小)
- ⑤【英語教育推進研究報告】 市教育研究所研究員
酒井 佳子教諭(国分寺中)・飯野 真由子教諭(国分寺小)

※ 駐車場は、グリムの館および古山小北側駐車場を御利用ください。
駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせでの来場にご協力ください。

☆御一読ください☆

次期学習指導要領に向けた「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(答申(案))が12月16日、中教審初等中等教育分科会から示されました。「主体的・対話的で深い学び」の実現(「アクティブ・ラーニング」の視点)に向けての授業改善の在り方についても、是非御一読ください。



☆効果的な家庭学習のために☆

家庭学習を通して、児童生徒は授業での学習内容を定着させたり、学習内容をより深く理解したりすることができます。各学校で家庭学習の取組やきまりは様々であると思いますが、改めて以下のポイント(参考)を確認してみませんか。

ポイント(参考)

- 目的 ・家庭学習を通してどのような力を付けるかを明確にしているか。
例) 学習習慣を確立したい 基礎的、基本的な学習事項の定着を図りたい
- 実態 ・先生方同士で様々な取組を把握しているか。 例) 内容、量、点検の仕方、授業への生かし方
・保護者の考えや家庭環境の実態を把握しているか。 例) 教育方針、学習環境
・児童生徒の家庭での過ごし方を把握しているか。 例) 習い事、通塾の割合
- 内容 ・繰り返したり、継続したりすることで効果が上がる内容か。
・児童生徒が学習に対する興味・関心を高める内容か、授業への期待が膨らむ内容か。
・授業での学習事項を発展させた内容か。
- 量 ・学年間や教科間で調整しているか。
・児童生徒の生活のリズムを考えた量か。
・期限や休日(長期休業)を考えた量か。
- 家庭学習のきまり ・学校独自に設定しているか。例) 「ながら」勉強をしない、勉強開始時間を決める、
視界に入るものを制限するなど学習環境を整える。



※ 先生方一人一人の家庭学習に対する考え方の違いによって、児童生徒が取り組む内容や効果も変わってくると思います。日々の家庭学習がより効果的になるよう、学校全体で共通理解を図りながら進めていくことをおすすめします。